

# 流域治水型災害復旧制度について

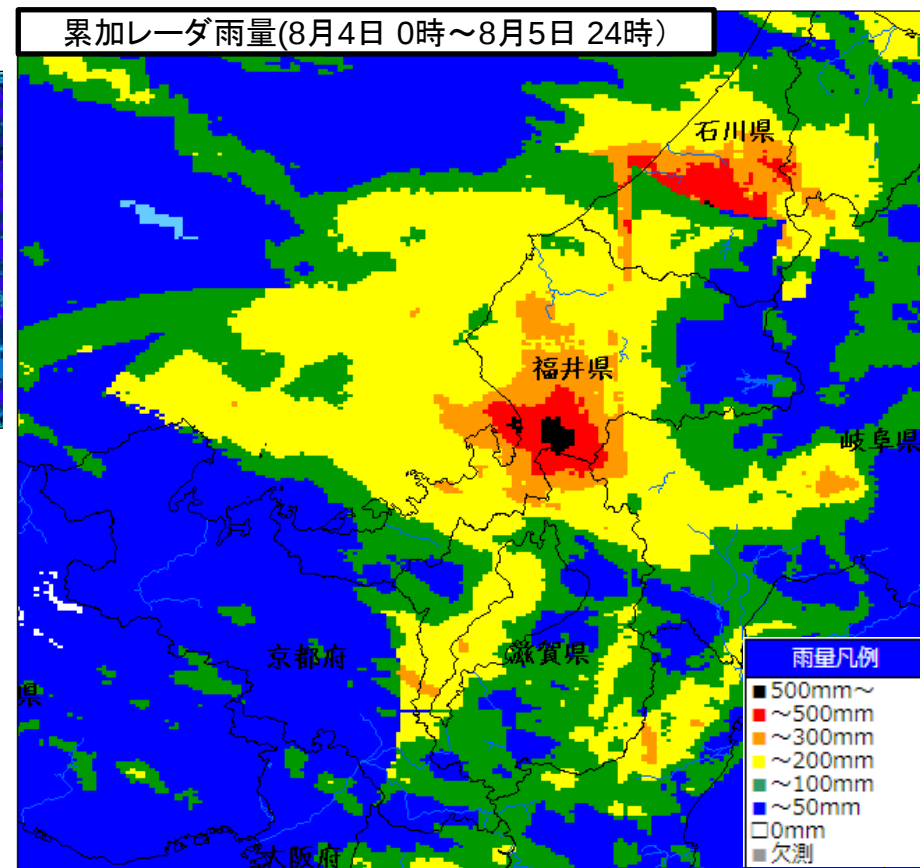
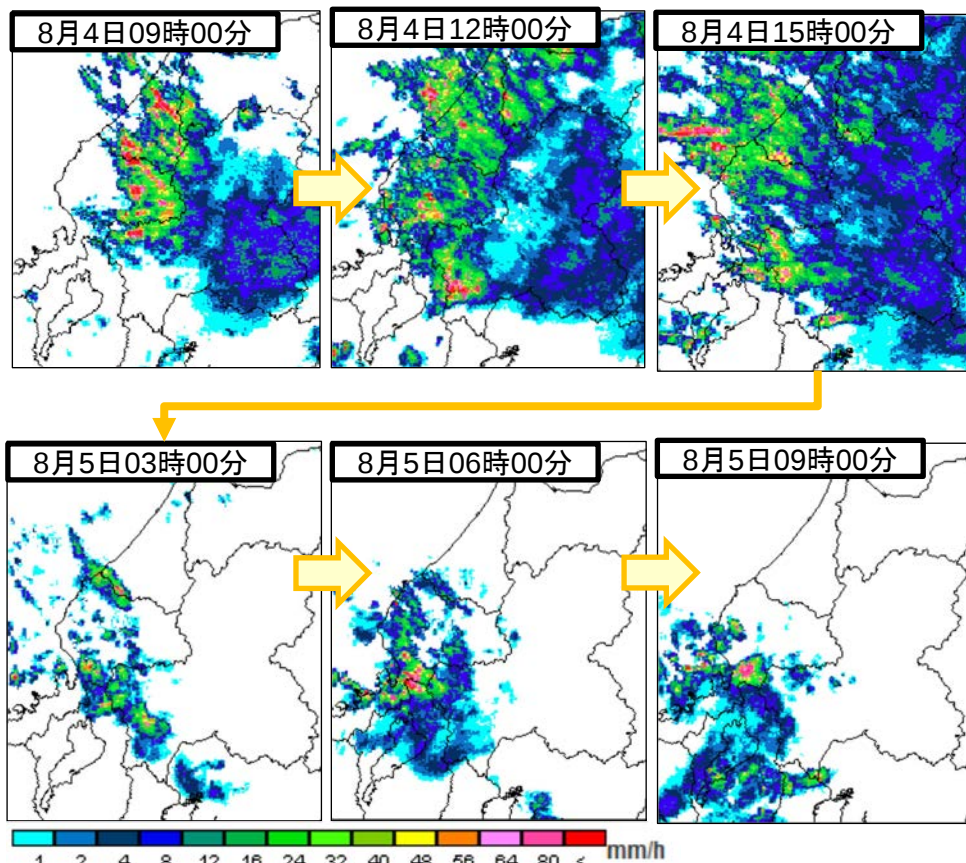
近畿地方整備局

# 令和4年8月4日から5日の大雨の状況

○8月4日から5日にかけて日本海の前線が北陸・近畿地方を南下しました。この前線に向かって流れ込んだ暖かく湿った空気と寒気の影響で、福井県・滋賀県では大気の状態が非常に不安定となり大雨となりました。

○福井県南越前町今庄ではアメダスの観測で8月4日から5日の総雨量が426.5mmとなり、また、滋賀県長浜市付近で5日6時30分までの1時間に約90mmの猛烈な雨が解析され、両県において、記録的短時間大雨情報が発表されました。

気象レーダー(福井地方気象台「令和4年8月4日から5日の大雨に関する福井県気象速報より」)



※数値等は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

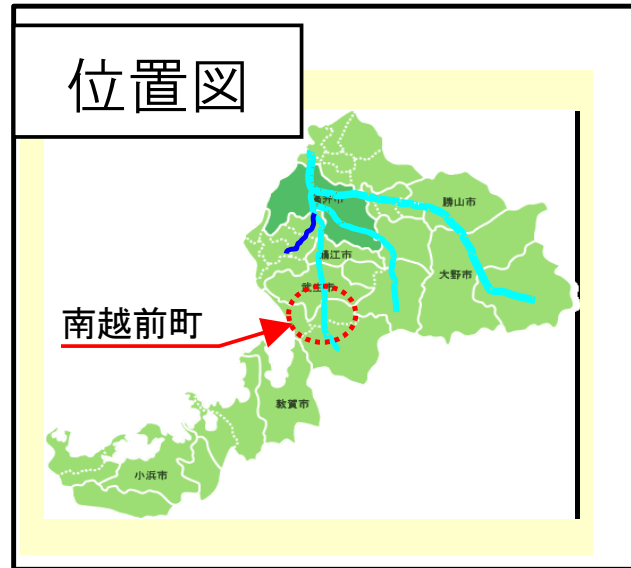
## 鹿蒜川流域の被害状況（福井県南越前町）

- ・ 鹿蒜川流域の各所で溢水・越水が発生。下流に位置する南今庄地係では堤防が決壊し、氾濫が発生
    - 住家被害：大桐地区～日野川合流点付近の区間で、深刻な被害発生（全壊5戸、半壊39戸、床上浸水62戸、床下浸水33戸）
    - ライフライン：91戸で断水被害発生、復旧までに最大10日間（8/5～8/14）
    - 道路・鉄道：平地の浸水や土砂流出により、JR北陸本線や県道、町道などに甚大な被害発生  
（JR北陸本線武生駅～敦賀駅間 8/4～8/10運休、県道今庄杉津線 8/5～8/10通行止め）
    - 農地等：耕地や農業用施設等に土砂が流入し、広範囲で被害発生（30ha）
- 



# 近畿地方整備局におけるリエゾン、TEC-FORCEの派遣

<福井県南越前町>



被災調査 8月7日



かひるがわ  
被災状況(鹿蒜川) 8月7日



南越前町長説明 8月15日



# 流域治水型災害復旧制度の創設

【出典】

令和4年度 水管理・国土保全局関係 予算概要(令和4年1月)

別紙1

- 災害復旧事業においても、流域治水の考え方に基づき、上流から下流、本川・支川の流域全体を俯瞰し、流域全体で水災害リスクを低減する対策を推進。
- 本川上流や支川において堤防の決壊や越水が発生した場合、遊水機能を確保しつつ、早期に浸水被害の軽減が可能な輪中堤や遊水地の整備を災害復旧事業として実施できる「流域治水型災害復旧制度」を創設。



## これまでの再度災害防止対策



被災水位に対応して  
堤防の嵩上げ、引堤、河道掘削  
により背後地全体の浸水を防ぐ  
(災害復旧事業又は改良復旧事業で実施)



下流への負荷を考慮した追加対策  
を実施(追加の河川事業で実施)

## 拡充の内容

- 河川整備計画に対策が記載されていることや浸水を許容する区域を浸水被害防止区域等に指定すること等を条件に、災害復旧事業により、下流における追加の改修を必要としない対策(輪中堤、遊水地の整備)を実施可能にする。
- また、災害復旧事業査定設計委託費補助の補助対象に、輪中堤、遊水地の整備を追加する。

## 新たな再度災害防止対策 (流域治水型災害復旧制度)



輪中堤又は遊水地の整備により、遊水機能を確保しつつ家屋浸水を防御



下流における改修を待つことなく、速やかに被災箇所の再度災害防止を実現

査定設計委託費補助：査定設計書を作成するための調査、測量、設計等に要する経費を補助【補助率：1/2】

○ 令和4年8月の大雨により甚大な浸水被害が発生した九頭竜川水系鹿蒜川において、**全国で初めて「流域治水型災害復旧」(令和4年度創設)を採択**(輪中堤整備など)し、「流域治水」の考え方に基づく水害に強い地域づくりを進めます。

位置図



【事業内容】

事業主体：福井県  
河川名：一級河川 九頭竜川水系 鹿蒜川  
事業箇所：南条郡南越前町南今庄～新道  
事業延長：3,140 m  
事業期間：令和4年度～令和6年度(予定)  
事業概要：輪中堤、護岸工 等

【浸水被害の状況】

面積：55ha  
家屋：全壊5戸、半壊39戸、床上浸水62戸、床下浸水33戸  
その他：県道、JR北陸本線など



①家屋浸水



②堤防の決壊



③護岸損壊



④護岸損壊

平面図



事業イメージ

